

山武市まちづくりアンケート報告書
＜東日本大震災・関連＞

平成23年8月

<目次>

○はじめに

○アンケート概要

○各設問の集計結果及び分析

・問6 3

・問6 4

・問6 5

・問6 6

○今後、まちづくりに取り組む上での課題・展開として

○はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの地域が被災されました。被害を受けられたみなさまに、心からお見舞いを申し上げます。

さて、山武市では「山武市総合計画（平成20～29年度）」を策定しています。その進行管理のために「山武市まちづくりアンケート（以下、「まちづくりアンケート」）」を実施し、まちづくりの達成度を把握し、各施策が市民に資するものになるよう努めております。

山武市は東日本大震災により多くの被害を受けたことから、市民のみなさんと協力して早急な復旧・復興に取り組むことが課題です。山武市は九十九里浜に面しており、地震だけではなく津波の脅威にも備えなければならない地域です。このため、今年度の「まちづくりアンケート」を実施するにあたり、通常の質問項目に加えて、今回の災害についての質問項目を設けました。市民のみなさまの率直な意見を頂戴し、その結果を今後のまちづくりに活かし、様々な環境変化に対応した施策を実施していきます。

本報告書では、このような意図から収集した災害に関するデータを、みなさまにご報告するとともに、災害に強いまちづくりを推進するための足掛かりにしたいと考えています。

○アンケート概要

平成23年度「まちづくりアンケート」は、平成23年5月1日現在、市内在住の16歳以上の3,000人を無作為に抽出し、実施したものです。本アンケートは、まちづくりの達成度を測る「ものさし」として活用することが目的であり、毎年同じ設問を用いて実施しています。本年度は通常のものに加え、東日本大震災に関連した設問を設けて、対象者の方に回答して頂きました。

アンケート発送日は5月10日で、アンケートの回収締切を5月31日に設定しました。アンケートの回収数は1,580件であり、回収率は52.7%でした。東日本大震災によりアンケート実施時期を見直した結果、回答期間が3週間と短い間になりましたが、多くの方のご協力をいただき、前回とほぼ同じ水準で回答頂くことができました。

○各設問の集計結果及び分析

問63. 山武市では、東北地方の被災地域に向けた支援を積極的に行っていきたいと考えております。あなたは、そのことについてどのように思いますか。(○はひとつ)

1. 東北地方の被災地域に対して、市の事業計画を変更しても、積極的に支援すべき
2. 東北地方の被災地域に対して、市の事業計画に影響を与えない範囲で、支援すべき
3. 東北地方の支援は、国・県に任せるべき
4. その他

本設問の意図は、東北地方の災害支援について、市としてどの規模で行うことが妥当であるか問うものです。集計結果は以下のとおりです。

「1. 東北地方の被災地域に対して、市の事業計画を変更しても、積極的に支援すべき」と回答した人の割合は18.9%であり、「2. 東北地方の被災地域に対して、市の事業計画に影響を与えない範囲で、支援すべき」と回答した人の割合は63.5%でした。このことから、山武市が東北地方へ支援することは市民にも求められていることであるという結果になりました。しかしながら、その実施方法には検討の余地があります。山武市は災害の被災地であるため、市の事業計画を優先すべきであり、計画に影響を与えないような方法や範囲を検討して、支援する必要があるということです。

集計結果のなかで特筆すべき傾向として、職業を学生としている回答者のなかで、積極的に支援すべきという回答の割合が高くなっています。学生と回答されている方はサンプル数としては少ないものですが、年齢別回答構成をみると、10歳代から30歳代までの方々の中で、積極的に支援すべきと回答している人の割合がやや高い傾向がみられます。このことから、年齢が若い市民においては、東北地方の被災地域に高い意識を持っていることが分かります。

問63. 山武市では、東北地方の被災地域に向けた支援を積極的に行っていきたいと考えております。そのことについてどのように思いますか

	合 計	1. 東北地方の 被災地域に 対して、市 の事業計画 を変更して も、積極的 に支援すべ き	2. 東北地方の 被災地域に 対して、市 の事業計画 に影響を与 えない範囲 で、支援す べき	3. 東北地方の 支援は、 国・県に任 せるべき	4. その他	5. 無回答	
全 体	1,580 (100.0)	299 (18.9)	1,003 (63.5)	156 (9.9)	44 (2.8)	78 (4.9)	
F 1. 性別	1. 男	682 (100.0)	138 (20.2)	406 (59.5)	84 (12.3)	16 (2.3)	38 (5.6)
	2. 女	880 (100.0)	157 (17.8)	589 (66.9)	69 (7.8)	26 (3.0)	39 (4.4)
	3. 無回答	18 (100.0)	4 (22.2)	8 (44.4)	3 (16.7)	2 (11.1)	1 (5.6)
F 2. 年齢	1. 10歳代	64 (100.0)	31 (48.4)	28 (43.8)	4 (6.3)	0 (-)	1 (1.6)
	2. 20歳代	125 (100.0)	33 (26.4)	75 (60.0)	8 (6.4)	6 (4.8)	3 (2.4)
	3. 30歳代	194 (100.0)	50 (25.8)	118 (60.8)	18 (9.3)	6 (3.1)	2 (1.0)
	4. 40歳代	206 (100.0)	37 (18.0)	142 (68.9)	18 (8.7)	3 (1.5)	6 (2.9)
	5. 50歳代	308 (100.0)	65 (21.1)	184 (59.7)	31 (10.1)	16 (5.2)	12 (3.9)
	6. 60～64歳	243 (100.0)	32 (13.2)	177 (72.8)	23 (9.5)	0 (-)	11 (4.5)
	7. 65～69歳	155 (100.0)	25 (16.1)	93 (60.0)	17 (11.0)	5 (3.2)	15 (9.7)
	8. 70歳以上	271 (100.0)	23 (8.5)	178 (65.7)	35 (12.9)	8 (3.0)	27 (10.0)
	9. 無回答	14 (100.0)	3 (21.4)	8 (57.1)	2 (14.3)	0 (-)	1 (7.1)
F 6. 地域	1. 成東	608 (100.0)	106 (17.4)	395 (65.0)	65 (10.7)	20 (3.3)	22 (3.6)
	2. 山武	545 (100.0)	119 (21.8)	335 (61.5)	44 (8.1)	15 (2.8)	32 (5.9)
	3. 蓮沼	102 (100.0)	15 (14.7)	68 (66.7)	9 (8.8)	5 (4.9)	5 (4.9)
	4. 松尾	288 (100.0)	51 (17.7)	182 (63.2)	34 (11.8)	4 (1.4)	17 (5.9)
	5. 無回答	37 (100.0)	8 (21.6)	23 (62.2)	4 (10.8)	0 (-)	2 (5.4)
F 3. 職業	1. 会社員・公務員	391 (100.0)	91 (23.3)	247 (63.2)	31 (7.9)	9 (2.3)	13 (3.3)
	2. 自営業・会社役員	266 (100.0)	38 (14.3)	170 (63.9)	33 (12.4)	8 (3.0)	17 (6.4)
	3. パートタイマー・アル	264 (100.0)	53 (20.1)	169 (64.0)	21 (8.0)	11 (4.2)	10 (3.8)
	4. 家事専業	233 (100.0)	33 (14.2)	163 (70.0)	20 (8.6)	4 (1.7)	13 (5.6)
	5. 学生	68 (100.0)	26 (38.2)	32 (47.1)	6 (8.8)	3 (4.4)	1 (1.5)
	6. 無職	283 (100.0)	41 (14.5)	181 (64.0)	34 (12.0)	6 (2.1)	21 (7.4)
	7. その他	47 (100.0)	12 (25.5)	26 (55.3)	5 (10.6)	3 (6.4)	1 (2.1)
	8. 無回答	28 (100.0)	5 (17.9)	15 (53.6)	6 (21.4)	0 (-)	2 (7.1)
F 7. 利用駅	1. 日向駅	244 (100.0)	58 (23.8)	146 (59.8)	22 (9.0)	6 (2.5)	12 (4.9)
	2. 成東駅	538 (100.0)	97 (18.0)	354 (65.8)	57 (10.6)	13 (2.4)	17 (3.2)
	3. 松尾駅	165 (100.0)	25 (15.2)	108 (65.5)	17 (10.3)	4 (2.4)	11 (6.7)
	4. その他	134 (100.0)	33 (24.6)	87 (64.9)	6 (4.5)	3 (2.2)	5 (3.7)
	5. 利用していない	440 (100.0)	78 (17.7)	270 (61.4)	48 (10.9)	15 (3.4)	29 (6.6)
	6. 無回答	59 (100.0)	8 (13.6)	38 (64.4)	6 (10.2)	3 (5.1)	4 (6.8)
F 8. 居住年数	1. 1年未満	6 (100.0)	1 (16.7)	3 (50.0)	1 (16.7)	0 (-)	1 (16.7)
	2. 1～5年未満	81 (100.0)	17 (21.0)	56 (69.1)	5 (6.2)	1 (1.2)	2 (2.5)
	3. 5～10年未満	114 (100.0)	21 (18.4)	69 (60.5)	10 (8.8)	7 (6.1)	7 (6.1)
	4. 10～20年未満	375 (100.0)	100 (26.7)	225 (60.0)	29 (7.7)	8 (2.1)	13 (3.5)
	5. 20年以上	973 (100.0)	153 (15.7)	632 (65.0)	108 (11.1)	27 (2.8)	53 (5.4)
	6. 無回答	31 (100.0)	7 (22.6)	18 (58.1)	3 (9.7)	1 (3.2)	2 (6.5)

注：()内はサンプル数を100とした割合

問64. 具体的にどのような支援をすべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 復興のためのお金や食料品を送る
2. 市の職員を派遣する
3. 市民ボランティアを派遣する
4. その他

(※本設問は、問63-1、2回答者のみ該当)

本設問は、問63の設問項目を受けて、具体的に何を支援すべきかを問う設問です。回答形式としては複数回答を是とするもので、回答者数は1,302人であり、回答総数は2,110を得ています。一人当たりの回答数に換算すると、1.62個の回答を得ています。

回答順位は、次の順に多くなっています。「1. 復興のためのお金や食料品等を送る」が755人、「3. 市民ボランティアを派遣する」が673人、「2. 市の職員を派遣する」が562人、それぞれ回答を得ています。

また、本設問は問63の設問と結びつく設問であることから、個票データから問63で回答の大半を占めている「2. 東北地方の被災地域に対して、市の事業計画に影響を与えない範囲で、支援すべき(63.5%)」を限定して、抽出・分析を行った結果、次の順位で回答者数が多い結果になりました。「1. 復興のためのお金や食料品等を送る」のみを回答している人が245人、「3. 市民ボランティアを派遣する」のみを回答している人が158人、「2. 市の職員を派遣する」のみを回答している人と、同率で「2. 市の職員を派遣する」と「2. 市民ボランティアを派遣する」の二つを回答している人が、ともに121人の方に回答を得ています。

以上の結果から、東北地方の被災地の支援の内容としては、金銭や物品を送ることが市の行う支援としては望まれていることが分かります。併せて、市の事業計画に影響を与えない範囲で、人的な支援をしていくことも望まれていることではありますが、その実施の仕方は考慮する必要があります。

問64. [問63で1～2の方]具体的にどのような支援をすべきだと思いますか(複数回答)

		回答者数	合計	1. 復興のため のお金や食 料品等を送 る	2. 市の職員を 派遣する	3. 市民ボラン ティアを派 遣する	4. その他	5. 無回答
全体		1,302 (100.0)	2,110 (162.1)	755 (58.0)	562 (43.2)	673 (51.7)	85 (6.5)	35 (2.7)
F 1. 性別	1. 男	544 (100.0)	868 (159.6)	309 (56.8)	252 (46.3)	266 (48.9)	27 (5.0)	14 (2.6)
	2. 女	746 (100.0)	1,225 (164.2)	443 (59.4)	304 (40.8)	400 (53.6)	58 (7.8)	20 (2.7)
	3. 無回答	12 (100.0)	17 (141.7)	3 (25.0)	6 (50.0)	7 (58.3)	0 (-)	1 (8.3)
F 2. 年齢	1. 10歳代	59 (100.0)	96 (162.7)	38 (64.4)	20 (33.9)	36 (61.0)	0 (-)	2 (3.4)
	2. 20歳代	108 (100.0)	182 (168.5)	74 (68.5)	43 (39.8)	55 (50.9)	9 (8.3)	1 (0.9)
	3. 30歳代	168 (100.0)	282 (167.9)	105 (62.5)	68 (40.5)	93 (55.4)	15 (8.9)	1 (0.6)
	4. 40歳代	179 (100.0)	314 (175.4)	103 (57.5)	86 (48.0)	105 (58.7)	16 (8.9)	4 (2.2)
	5. 50歳代	249 (100.0)	404 (162.2)	137 (55.0)	109 (43.8)	137 (55.0)	16 (6.4)	5 (2.0)
	6. 60～64歳	209 (100.0)	325 (155.5)	113 (54.1)	100 (47.8)	88 (42.1)	16 (7.7)	8 (3.8)
	7. 65～69歳	118 (100.0)	197 (166.9)	65 (55.1)	56 (47.5)	67 (56.8)	4 (3.4)	5 (4.2)
	8. 70歳以上	201 (100.0)	293 (145.8)	117 (58.2)	74 (36.8)	84 (41.8)	9 (4.5)	9 (4.5)
	9. 無回答	11 (100.0)	17 (154.5)	3 (27.3)	6 (54.5)	8 (72.7)	0 (-)	0 (-)
F 6. 地域	1. 成東	501 (100.0)	821 (163.9)	294 (58.7)	216 (43.1)	273 (54.5)	27 (5.4)	11 (2.2)
	2. 山武	454 (100.0)	735 (161.9)	262 (57.7)	195 (43.0)	231 (50.9)	37 (8.1)	10 (2.2)
	3. 蓮沼	83 (100.0)	148 (178.3)	50 (60.2)	44 (53.0)	45 (54.2)	7 (8.4)	2 (2.4)
	4. 松尾	233 (100.0)	352 (151.1)	132 (56.7)	92 (39.5)	105 (45.1)	13 (5.6)	10 (4.3)
	5. 無回答	31 (100.0)	54 (174.2)	17 (54.8)	15 (48.4)	19 (61.3)	1 (3.2)	2 (6.5)
F 3. 職業	1. 会社員・公務員	338 (100.0)	560 (165.7)	195 (57.7)	162 (47.9)	172 (50.9)	24 (7.1)	7 (2.1)
	2. 自営業・会社役員	208 (100.0)	332 (159.6)	120 (57.7)	92 (44.2)	103 (49.5)	12 (5.8)	5 (2.4)
	3. パートタイマー・アル	222 (100.0)	369 (166.2)	128 (57.7)	89 (40.1)	131 (59.0)	18 (8.1)	3 (1.4)
	4. 家事専業	196 (100.0)	313 (159.7)	121 (61.7)	79 (40.3)	94 (48.0)	15 (7.7)	4 (2.0)
	5. 学生	58 (100.0)	98 (169.0)	40 (69.0)	19 (32.8)	36 (62.1)	2 (3.4)	1 (1.7)
	6. 無職	222 (100.0)	345 (155.4)	126 (56.8)	92 (41.4)	106 (47.7)	12 (5.4)	9 (4.1)
	7. その他	38 (100.0)	63 (165.8)	20 (52.6)	21 (55.3)	17 (44.7)	2 (5.3)	3 (7.9)
	8. 無回答	20 (100.0)	30 (150.0)	5 (25.0)	8 (40.0)	14 (70.0)	0 (-)	3 (15.0)
F 7. 利用駅	1. 日向駅	204 (100.0)	333 (163.2)	115 (56.4)	86 (42.2)	115 (56.4)	13 (6.4)	4 (2.0)
	2. 成東駅	451 (100.0)	724 (160.5)	261 (57.9)	196 (43.5)	230 (51.0)	25 (5.5)	12 (2.7)
	3. 松尾駅	133 (100.0)	210 (157.9)	82 (61.7)	49 (36.8)	66 (49.6)	8 (6.0)	5 (3.8)
	4. その他	120 (100.0)	211 (175.8)	78 (65.0)	50 (41.7)	62 (51.7)	18 (15.0)	3 (2.5)
	5. 利用して いない	348 (100.0)	562 (161.5)	195 (56.0)	164 (47.1)	175 (50.3)	20 (5.7)	8 (2.3)
	6. 無回答	46 (100.0)	70 (152.2)	24 (52.2)	17 (37.0)	25 (54.3)	1 (2.2)	3 (6.5)
F 8. 居住年 数	1. 1年未満	4 (100.0)	5 (125.0)	1 (25.0)	2 (50.0)	2 (50.0)	0 (-)	0 (-)
	2. 1～5年未 満	73 (100.0)	115 (157.5)	33 (45.2)	31 (42.5)	41 (56.2)	8 (11.0)	2 (2.7)
	3. 5～10年未 満	90 (100.0)	159 (176.7)	55 (61.1)	42 (46.7)	48 (53.3)	12 (13.3)	2 (2.2)
	4. 10～20年未 満	325 (100.0)	545 (167.7)	195 (60.0)	147 (45.2)	176 (54.2)	21 (6.5)	6 (1.8)
	5. 20年以上	785 (100.0)	1,249 (159.1)	459 (58.5)	330 (42.0)	393 (50.1)	44 (5.6)	23 (2.9)
	6. 無回答	25 (100.0)	37 (148.0)	12 (48.0)	10 (40.0)	13 (52.0)	0 (-)	2 (8.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合

問65. 今後、本市において、津波対策をするとしたら、どの程度の高さを想定して対策することが、よいと思いますか。(〇はひとつ)

1. 2 m
2. 4 m
3. 6 m
4. 8 m
5. 10 m

本設問は、山武市として津波対策を講じるにあたり、市民の方が、東日本大震災を経験しどのように津波を想定しているのか、率直な意見を頂くことを意図しています。東日本大震災による津波の被害は広範囲にわたり、その地震そのものも従来の想定を上回るものとなりました。海岸地域を有する山武市としては最も重視していかなければならないことであり、国や県等と連携し災害の被害を最小限のものにしていくためにも、本アンケートにより対策を検討していかなければならないと考えています。

集計結果の回答順位としては、次の順で回答が多くなっています。「5. 10 m (58.1%)」、「4. 8 m (16.6%)」、「3. 6 m (9.7%)」のとおりです。回答としては、10 m程度を想定すべきことが読み取れます。また、記述頂いた回答者の方の中には、10 m以上を想定すべきだという意見も多数みられました。

アンケートのクロス分析結果では、当初設問設定時の想定と相違がみられました。海岸に面している地域である「成東」「蓮沼」地域と、丘陵地域である「山武」「松尾」地域とで、海岸との距離から回答差を見込んでいましたが、取り立てて有意な差は認められませんでした。

しかしながら、同クロス集計において、他の分析視点から変化がみられました。すなわち、回答者の年齢と居住年数により回答差がみられ、年齢が高い方もしくは居住年数が多い方ほど、想定される津波の高さを手堅く見積もっている傾向がありました。

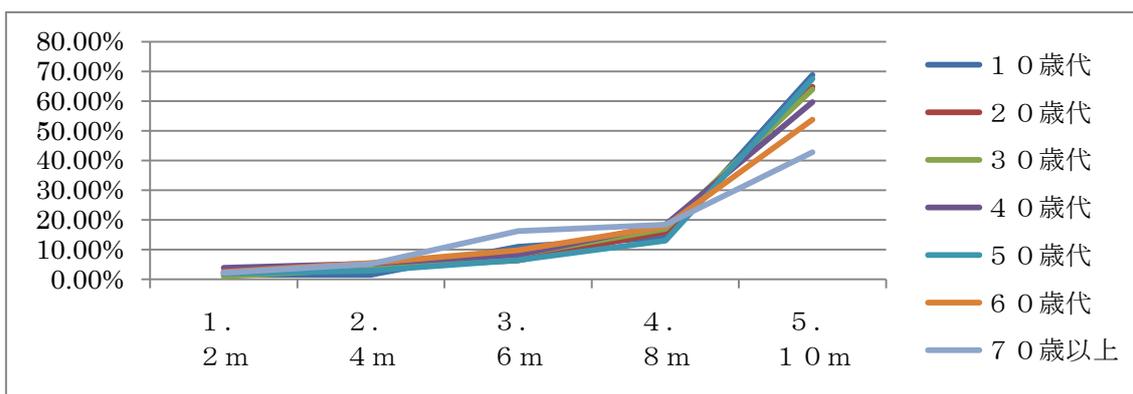
また、本設問と関係した設問に、問5と問6があります。「問5. あなたがお住まいの地域は、災害に対して安心して暮らせる地域だと思いますか。」について、問6で「『やや不安』と『不安』とお答えの方へ、どのようなことが不安だと思いますか。」と自由回答形式で記述を頂いています。

記述結果を分析した結果、回答者の居住地域によって「津波」に対する言及の程度が異なることが分かりました。その地域別に津波に対する言及率（津波に関する記述÷地域ごとの総記述）は、「成東」が49.8%、「山武」が9.4%、「蓮沼」が81.4%、「松尾」が31.0%となりました。

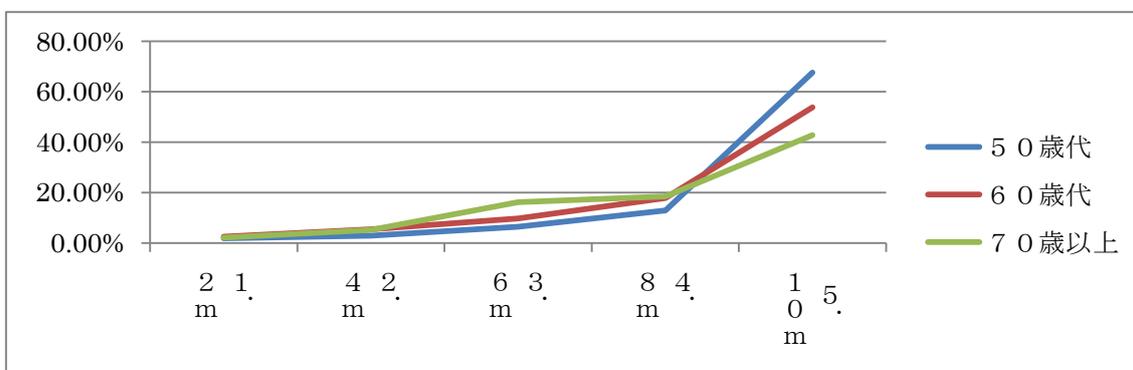
この設問では、海岸に面している地域である「成東」「蓮沼」地域と、丘陵地域である「山

武」「松尾」地域とで、大きな差がみられました。質問形式が選択型とは異なり、自由記述型では想起を伴うため、不安をもっている方のより率直な意見であることが言えます。そのため、具体的な対策を取るべき津波の高さを想定することも必要な一方、海岸部の方の津波に対する不安を解消するような施策が必要になってくるのが分かります。

○年齢別津波想定（全年代）



○年齢別津波想定（50歳代・60歳代・70歳以上）



○自由回答形式の設問における、津波に関する言及率（問5、問6関係）

	津波への言及数	総言及数	津波に対する言及率
成東	127	255	49.8%
山武	12	127	9.4%
蓮沼	57	70	81.4%
松尾	27	87	31.0%

問65. 今後、本市において、津波対策をするとしたら、どの程度の高さを想定して対策することが、よいと思いますか

		合 計	1. 2 m	2. 4 m	3. 6 m	4. 8 m	5. 10m	6. 10m以上	7. 無回答
全 体		1,580 (100.0)	36 (2.3)	69 (4.4)	154 (9.7)	262 (16.6)	918 (58.1)	20 (1.3)	121 (7.7)
F 1.性別	1. 男	682 (100.0)	16 (2.3)	34 (5.0)	90 (13.2)	118 (17.3)	366 (53.7)	7 (1.0)	51 (7.5)
	2. 女	880 (100.0)	20 (2.3)	35 (4.0)	60 (6.8)	143 (16.3)	543 (61.7)	13 (1.5)	66 (7.5)
	3. 無回答	18 (100.0)	0 (-)	0 (-)	4 (22.2)	1 (5.6)	9 (50.0)	0 (-)	4 (22.2)
F 2.年齢	1. 10歳代	64 (100.0)	1 (1.6)	1 (1.6)	7 (10.9)	9 (14.1)	44 (68.8)	1 (1.6)	1 (1.6)
	2. 20歳代	125 (100.0)	3 (2.4)	5 (4.0)	8 (6.4)	20 (16.0)	81 (64.8)	3 (2.4)	5 (4.0)
	3. 30歳代	194 (100.0)	2 (1.0)	7 (3.6)	16 (8.2)	33 (17.0)	124 (63.9)	5 (2.6)	7 (3.6)
	4. 40歳代	206 (100.0)	8 (3.9)	11 (5.3)	17 (8.3)	38 (18.4)	123 (59.7)	1 (0.5)	8 (3.9)
	5. 50歳代	308 (100.0)	6 (1.9)	9 (2.9)	20 (6.5)	40 (13.0)	208 (67.5)	4 (1.3)	21 (6.8)
	6. 60～64歳	243 (100.0)	5 (2.1)	15 (6.2)	24 (9.9)	49 (20.2)	127 (52.3)	4 (1.6)	19 (7.8)
	7. 65～69歳	155 (100.0)	5 (3.2)	7 (4.5)	15 (9.7)	22 (14.2)	87 (56.1)	0 (-)	19 (12.3)
	8. 70歳以上	271 (100.0)	6 (2.2)	14 (5.2)	44 (16.2)	50 (18.5)	116 (42.8)	2 (0.7)	39 (14.4)
	9. 無回答	14 (100.0)	0 (-)	0 (-)	3 (21.4)	1 (7.1)	8 (57.1)	0 (-)	2 (14.3)
F 6.地域	1. 成東	608 (100.0)	16 (2.6)	28 (4.6)	67 (11.0)	120 (19.7)	344 (56.6)	5 (0.8)	28 (4.6)
	2. 山武	545 (100.0)	6 (1.1)	28 (5.1)	47 (8.6)	85 (15.6)	315 (57.8)	7 (1.3)	57 (10.5)
	3. 蓮沼	102 (100.0)	1 (1.0)	3 (2.9)	10 (9.8)	12 (11.8)	65 (63.7)	4 (3.9)	7 (6.9)
	4. 松尾	288 (100.0)	10 (3.5)	8 (2.8)	25 (8.7)	39 (13.5)	177 (61.5)	4 (1.4)	25 (8.7)
	5. 無回答	37 (100.0)	3 (8.1)	2 (5.4)	5 (13.5)	6 (16.2)	17 (45.9)	0 (-)	4 (10.8)
F 3.職業	1. 会社員・公務員	391 (100.0)	8 (2.0)	15 (3.8)	36 (9.2)	59 (15.1)	249 (63.7)	4 (1.0)	20 (5.1)
	2. 自営業・会社役員	266 (100.0)	4 (1.5)	15 (5.6)	32 (12.0)	54 (20.3)	136 (51.1)	1 (0.4)	24 (9.0)
	3. パートタイム・アルマー・アル	264 (100.0)	8 (3.0)	11 (4.2)	18 (6.8)	44 (16.7)	163 (61.7)	6 (2.3)	14 (5.3)
	4. 家事専業	233 (100.0)	4 (1.7)	11 (4.7)	20 (8.6)	36 (15.5)	137 (58.8)	2 (2.1)	20 (8.6)
	5. 学生	68 (100.0)	2 (2.9)	2 (2.9)	5 (7.4)	12 (17.6)	45 (66.2)	1 (1.5)	1 (1.5)
	6. 無職	283 (100.0)	6 (2.1)	13 (4.6)	34 (12.0)	49 (17.3)	146 (51.6)	2 (0.7)	33 (11.7)
	7. その他	47 (100.0)	3 (6.4)	2 (4.3)	6 (12.8)	4 (8.5)	27 (57.4)	1 (2.1)	4 (8.5)
	8. 無回答	28 (100.0)	1 (3.6)	0 (-)	3 (10.7)	4 (14.3)	15 (53.6)	0 (-)	5 (17.9)
F 7.利用駅	1. 日向駅	244 (100.0)	0 (-)	14 (5.7)	18 (7.4)	35 (14.3)	148 (60.7)	3 (1.2)	26 (10.7)
	2. 成東駅	538 (100.0)	14 (2.6)	27 (5.0)	51 (9.5)	99 (18.4)	307 (57.1)	7 (1.3)	33 (6.1)
	3. 松尾駅	165 (100.0)	9 (5.5)	4 (2.4)	15 (9.1)	21 (12.7)	99 (60.0)	2 (1.2)	15 (9.1)
	4. その他	134 (100.0)	3 (2.2)	5 (3.7)	14 (10.4)	19 (14.2)	81 (60.4)	1 (0.7)	11 (8.2)
	5. 利用していない	440 (100.0)	9 (2.0)	16 (3.6)	46 (10.5)	81 (18.4)	253 (57.5)	5 (1.1)	30 (6.8)
	6. 無回答	59 (100.0)	1 (1.7)	3 (5.1)	10 (16.9)	7 (11.9)	30 (50.8)	2 (3.4)	6 (10.2)
F 8.居住年数	1. 1年未満	6 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (33.3)	3 (50.0)	0 (-)	1 (16.7)
	2. 1～5年未満	81 (100.0)	1 (1.2)	1 (1.2)	8 (9.9)	14 (17.3)	47 (58.0)	4 (4.9)	6 (7.4)
	3. 5～10年未満	114 (100.0)	1 (0.9)	6 (5.3)	10 (8.8)	17 (14.9)	65 (57.0)	3 (2.6)	12 (10.5)
	4. 10～20年未満	375 (100.0)	7 (1.9)	14 (3.7)	28 (7.5)	54 (14.4)	245 (65.3)	3 (0.8)	24 (6.4)
	5. 20年以上	973 (100.0)	26 (2.7)	47 (4.8)	103 (10.6)	171 (17.6)	541 (55.6)	10 (1.0)	75 (7.7)
	6. 無回答	31 (100.0)	1 (3.2)	1 (3.2)	5 (16.1)	4 (12.9)	17 (54.8)	0 (-)	3 (9.7)

注:()内はコア #数を100とした割合

問66. 原子力発電について、どのように思いますか。(〇はひとつ)

1. 安全基準を見直し、安全性の強化を図り、原子力発電を維持したほうがよい
2. 生活の利便性を下げても、原子力発電をやめるべき
3. その他

本設問は、東日本大震災により被害を受けた原子力発電所と、今後のエネルギー確保について問うものです。生活の利便性の向上と、さらなるエネルギー確保は両立しないことを前提に、市民の方にどのような意識変化があったのか調べたものです。

回答結果としては、「1. 安全基準を見直し、安全性の強化を図り、原子力発電を維持したほうがよい」と回答した人が658人(41.6%)、「2. 生活の利便性を下げても、原子力発電をやめるべき」と回答した人が728人(46.1%)でした。傾向として、「原子力発電をやめるべき」と回答した人の方がやや多かったのですが、市民の意識としては大きく二つに分かれる事になりました。

クロス集計の分析により、大きな回答差が見られた項目は性別による違いです。「1. 安全基準を見直し、安全性の強化を図り、原子力発電を維持したほうがよい」に関しては、男性の回答率49.1%に対して、女性の回答率35.9%になっています。「2. 生活の利便性を下げても、原子力発電をやめるべき」に関しては、男性の回答率40.3%に対し、女性の回答率50.3%になっています。すなわち、男性は原子力発電を維持する考えを持つ割合が女性に比べて13.2ポイント高い結果になっています。

このことから、回答率では互いに40%を超え意見としては対立していますが、それでも生活の利便性を下げても、原子力発電をやめるべきという意見が若干多い結果になっています。また、「3. その他」と回答された方の記述をみても、原子力発電からの転換が望ましいという意見が多く、自然エネルギーなどの代替エネルギーの確保をあげているものが多くなっています。そのため、市民の生活面でも従来と同じエネルギー使用量ではなく、何らかの転換が必要になると言えます。

問66. 原子力発電について、どのように思いますか

		合 計	1. 安全基準を 見直し、安 全性の強化 を図り、原 子力発電を 維持したほ うがよい	2. 生活の利便 性を下げて でも、原子 力発電をや めるべき	3. その他	4. 無回答
全 体		1,580 (100.0)	658 (41.6)	728 (46.1)	115 (7.3)	79 (5.0)
F 1. 性別	1. 男	682 (100.0)	335 (49.1)	275 (40.3)	39 (5.7)	33 (4.8)
	2. 女	880 (100.0)	316 (35.9)	443 (50.3)	76 (8.6)	45 (5.1)
	3. 無回答	18 (100.0)	7 (38.9)	10 (55.6)	0 (-)	1 (5.6)
F 2. 年齢	1. 10歳代	64 (100.0)	28 (43.8)	30 (46.9)	4 (6.3)	2 (3.1)
	2. 20歳代	125 (100.0)	57 (45.6)	54 (43.2)	10 (8.0)	4 (3.2)
	3. 30歳代	194 (100.0)	89 (45.9)	84 (43.3)	17 (8.8)	4 (2.1)
	4. 40歳代	206 (100.0)	93 (45.1)	87 (42.2)	20 (9.7)	6 (2.9)
	5. 50歳代	308 (100.0)	126 (40.9)	144 (46.8)	30 (9.7)	8 (2.6)
	6. 60～64歳	243 (100.0)	97 (39.9)	118 (48.6)	18 (7.4)	10 (4.1)
	7. 65～69歳	155 (100.0)	59 (38.1)	78 (50.3)	4 (2.6)	14 (9.0)
	8. 70歳以上	271 (100.0)	105 (38.7)	123 (45.4)	12 (4.4)	31 (11.4)
	9. 無回答	14 (100.0)	4 (28.6)	10 (71.4)	0 (-)	0 (-)
F 6. 地域	1. 成東	608 (100.0)	244 (40.1)	296 (48.7)	49 (8.1)	19 (3.1)
	2. 山武	545 (100.0)	226 (41.5)	246 (45.1)	42 (7.7)	31 (5.7)
	3. 蓮沼	102 (100.0)	35 (34.3)	53 (52.0)	7 (6.9)	7 (6.9)
	4. 松尾	288 (100.0)	138 (47.9)	116 (40.3)	14 (4.9)	20 (6.9)
	5. 無回答	37 (100.0)	15 (40.5)	17 (45.9)	3 (8.1)	2 (5.4)
F 3. 職業	1. 会社員・公務員	391 (100.0)	183 (46.8)	171 (43.7)	27 (6.9)	10 (2.6)
	2. 自営業・会社役員	266 (100.0)	115 (43.2)	122 (45.9)	17 (6.4)	12 (4.5)
	3. パートタイマー・アル	264 (100.0)	105 (39.8)	115 (43.6)	31 (11.7)	13 (4.9)
	4. 家事専業	233 (100.0)	86 (36.9)	120 (51.5)	13 (5.6)	14 (6.0)
	5. 学生	68 (100.0)	28 (41.2)	33 (48.5)	6 (8.8)	1 (1.5)
	6. 無職	283 (100.0)	120 (42.4)	123 (43.5)	16 (5.7)	24 (8.5)
	7. その他	47 (100.0)	15 (31.9)	26 (55.3)	4 (8.5)	2 (4.3)
	8. 無回答	28 (100.0)	6 (21.4)	18 (64.3)	1 (3.6)	3 (10.7)
F 7. 利用駅	1. 日向駅	244 (100.0)	103 (42.2)	106 (43.4)	23 (9.4)	12 (4.9)
	2. 成東駅	538 (100.0)	215 (40.0)	266 (49.4)	37 (6.9)	20 (3.7)
	3. 松尾駅	165 (100.0)	77 (46.7)	65 (39.4)	12 (7.3)	11 (6.7)
	4. その他	134 (100.0)	53 (39.6)	65 (48.5)	11 (8.2)	5 (3.7)
	5. 利用していない	440 (100.0)	180 (40.9)	201 (45.7)	29 (6.6)	30 (6.8)
	6. 無回答	59 (100.0)	30 (50.8)	25 (42.4)	3 (5.1)	1 (1.7)
F 8. 居住年数	1. 1年未満	6 (100.0)	4 (66.7)	1 (16.7)	0 (-)	1 (16.7)
	2. 1～5年未満	81 (100.0)	40 (49.4)	32 (39.5)	7 (8.6)	2 (2.5)
	3. 5～10年未満	114 (100.0)	43 (37.7)	54 (47.4)	11 (9.6)	6 (5.3)
	4. 10～20年未満	375 (100.0)	148 (39.5)	180 (48.0)	33 (8.8)	14 (3.7)
	5. 20年以上	973 (100.0)	411 (42.2)	446 (45.8)	62 (6.4)	54 (5.5)
	6. 無回答	31 (100.0)	12 (38.7)	15 (48.4)	2 (6.5)	2 (6.5)

注:()内は有効数を100とした割合

○今後、まちづくりに取り組む上での課題・展開として

今回の東日本大震災を経験し、山武市としても大きな変革の時を迎えています。「山武市まちづくりアンケート」は、「山武市総合計画（平成20～29年度）」の進捗管理を行うために実施されているもので、市の施策が市民のみなさんにとってよりよい結果を生んでいるのかを確認するものです。今年度のまちづくりアンケートは5月に実施し、今回の震災から間もない時期に行ったものです。そのため、震災による不安を直接受けとめたものとして価値があり、安心・安全に暮らせるまちづくりを進めるうえで、参考となる結果が得られました。

今回の震災を受けて、山武市が直面する課題としてあげられるものは、次の3点に集約されると言えます。1点目は、今回の震災の検証を含め、市民参加による地域に即した災害に強いまちづくりのための計画づくりです。2点目は、その計画をもとに市民のみなさんと協働した取り組みです。3点目は、限りある資源とそれに合わせた生活への転換です。

はじめに、災害に強いまちづくりのための計画づくりとしては、今回の震災をふまえたハザードマップの見直しや、津波の被害を考慮したインフラの整備などがあげられます。

つぎに、市民のみなさんとの協働としては、災害を減らすまちづくり計画をもとに、より安心・安全を感じられるよう、市民のみなさんと協力して災害に立ち向かう体制を作り上げることです。具体的には、市民の方と実際の災害の被害状況とを照らし合わせて、避難経路を確認し、多くの方と避難訓練をする機会を設けること、災害時に必要な情報のやり取りができる体制をつくることなどがあげられます。

また、限りある資源とそれに合わせた生活への転換としては、原子力発電等の従来行っていた生活様式が限界を迎えていて、何らかの変化が求められるということです。具体的には、限られたエネルギーで生活できるようにすること、または新たなエネルギーを確保することがあげられます。

山武市としても、今回の災害を契機に、その災害に対応して安心・安全なまちづくりを行うために「総合計画」を修正することが求められています。基本構想で10年間、基本計画で5年間という長期的視点で策定された計画ではありますが、今回の災害は想定されていないものでした。今後は、このような突発的な事態に対応できるような組織作り、まちづくりを念頭においた「総合計画」が必要になると言えます。そのためにも、今回のみなさまのアンケート結果を活用していきたいと考えております。

山武市では、今後も総合計画のスローガンである「誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ」に向かい、市の政策を推進していきますので、みなさまのご協力をお願いします。

誰もがしあわせを実感できる独立都市 さんむ



山武市まちづくりアンケート報告書

<東日本大震災・関連>

平成23年8月

発行／山武市

編集／総務部企画政策課

〒289-1392 千葉県山武市殿台296番地

TEL : 0475-80-1132